

日本学術会議九州・沖縄地区会議主催学術講演会
「海の利用と保全への新たな挑戦」の開催について

1. 主 催： 日本学術会議九州・沖縄地区会議
2. 共 催： 長崎大学
3. 後 援： 長崎県、長崎市（予定）
4. 日 時： 平成 30 年 3 月 1 日（木） 14:00～16:10
5. 場 所： 長崎大学文教スカイホール（予定）
（長崎市文教町 1 - 1 4）
6. 開催趣旨： 東日本大震災以降、地球温暖化を抑制し人間社会の持続性を確保していくためのエネルギー源として、洋上風力や潮流等を利用した海洋の再生可能エネルギーへの関心が高まり、その開発・利用に関する研究の進展が強く求められている。その一方で、人口の急激な増加に伴い食料供給源としての水産資源確保の必要性が高まり、水産資源の生産を支える海洋の環境や生態系の保全が重要な課題となっている。海洋エネルギーの開発・利用と安定した水産食料資源の確保をバランスよく実現していくためには、学際的な新たな学術分野を確立していくことが必要と考えられる。そこで本講演会では、長崎県五島沖で進められている潮流発電等の海洋再生可能エネルギー開発に関する実証試験、長崎県沿岸を含む東シナ海的环境と生物資源に焦点をあて、「海の利用と保全への新たな挑戦」に関する最新の研究動向を紹介する。
7. 次 第：
司会進行 伊藤 昌子（日本学術会議連携会員、長崎大学副学長）
(1)開会挨拶（14:00～14:10）
14:00～14:05 武内 和彦（日本学術会議副会長、東京大学国際高等研究所サステイナビリティ学連携研究機構

機構長・特任教授)

14:05～14:10 河野 茂 (長崎大学学長)

(2) 講演 (14:10～16:00)

① 経塚 雄策 (長崎大学海洋未来イノベーション機構・教授) (予定)

② 河邊 玲 (長崎大学海洋未来イノベーション機構・教授) (予定)

③ NISHIHARA Gregory Naoki (長崎大学海洋未来イノベーション機構・准教授) (予定)

(3) 閉会挨拶

16:00～16:10 君塚 信夫 (日本学術会議第三部会員・九州・沖縄地区会議代表幹事、九州大学大学院工学研究院 教授)

(下線の登壇者は、主催地区会議所属の会員・連携会員)